

益子町名誉町民章受章記念

島岡達三展

東京工業大学博物館所蔵 中澤コレクション

会期 H25.4.21(SUN) - 7.21(SUN) 会場 益子陶芸美術館
Mashiko Museum of Ceramic Art

休館日/月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、但し4月30日(火)は開館、5月8日は休館。

開館/9:30~17:00(2月~10月) ※入館は16:30まで

入館料/大人600円(550円)、小中学生300円(250円) ()内は20名以上の団体

■主催/益子町文化のまちづくり実行委員会、益子陶芸美術館、下野新聞社 ■後援/栃木放送、エフエム栃木、とちぎテレビ、NHK宇都宮放送局 ■特別協力/東京工業大学



益子陶芸美術館
Mashiko Museum of Ceramic Art

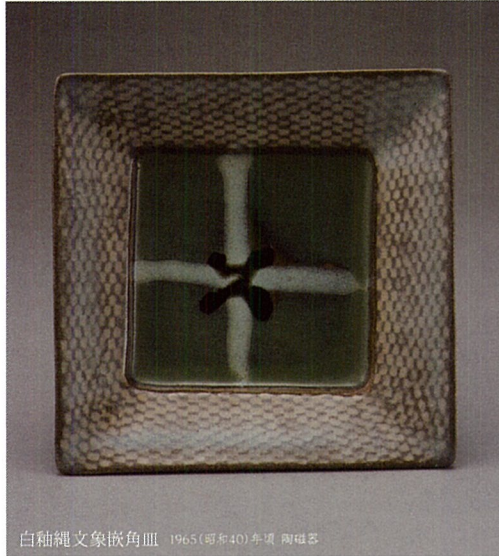
源変象振縄文壺 1980(昭和55)年頃 東京工業大学博物館所蔵
撮影:乾 翔



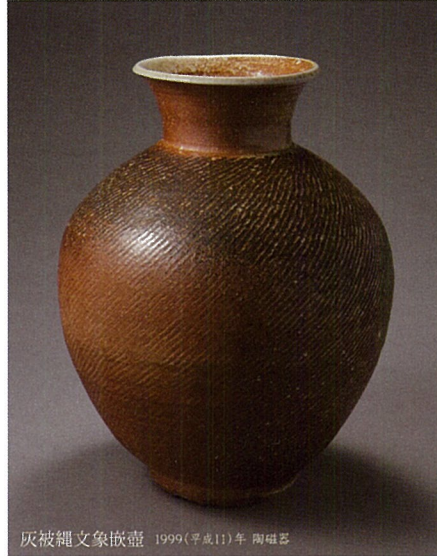
象嵌夫婦湯呑 1960(昭和35)年頃 陶磁器



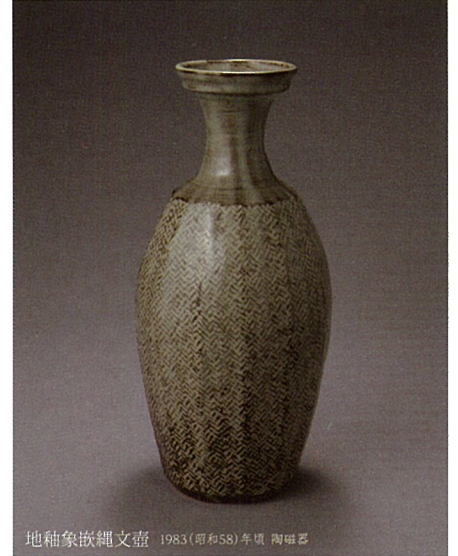
白掛櫛目文鉢 1980(昭和55)年頃 陶磁器



白釉縄文象嵌角皿 1965(昭和40)年頃 陶磁器



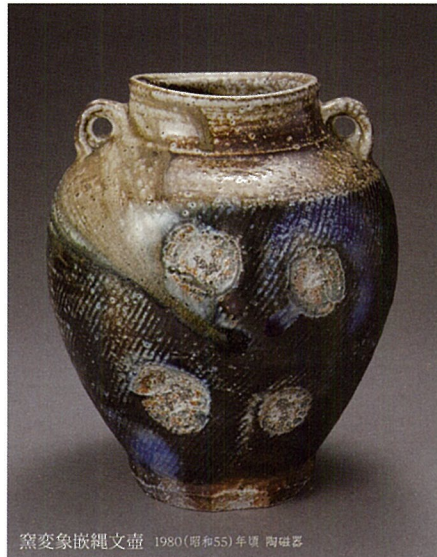
灰被縄文象嵌壺 1999(平成11)年頃 陶磁器



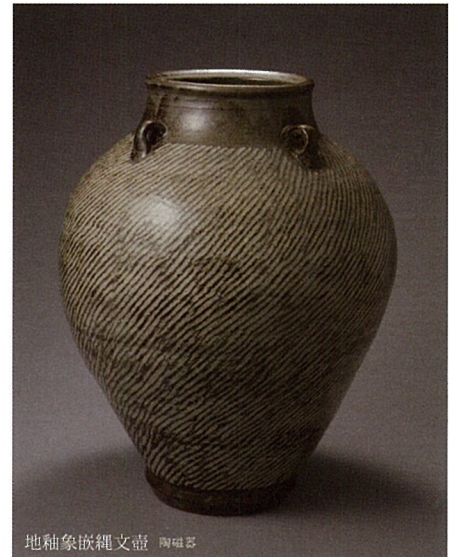
地釉象嵌縄文壺 1983(昭和58)年頃 陶磁器



地釉縄文象嵌方壺 1970(昭和45)年頃 陶磁器



窯変象嵌縄文壺 1980(昭和55)年頃 陶磁器



地釉象嵌縄文壺 陶磁器

関連イベント 茶会「縄文づくし」

人間国宝島岡達三の抹茶碗で一服のお茶を旧濱田邸の一室で味わってみませんか。

会場：益子町指定文化財 旧濱田邸（陶芸メッセ・益子内）

日時：6月9日(日) 10時～15時

定員：100名 茶券：500円

協力：益子町茶華道協会



地釉象嵌縄文鉢

1919(大正8)年に東京で生まれた島岡達三は東京工業大学窯業学科を卒業し、戦後間もなく益子の濱田庄司に師事し陶芸を学びます。やがて、縄文土器からヒントを得た縄文象嵌という文様によって独自の装飾を生み出し、1996(平成8)年に重要無形文化財保持者に認定され、益子を代表する陶芸家の一人となりました。本展は窯業学科の同級生でもある親友の中澤三知彦氏によってコレクションされ、2000(平成12)年に東工大に寄贈された110点余りの島岡作品の中から約60点を選びすぐり紹介するものです。特に中澤コレクションは普段使いの器が多く含まれ、生活と共にある益子焼の本来の姿を思い起こさせます。



◇交通：【バス】東武宇都宮駅、JR宇都宮駅西口14番バス乗り場から東野バス益子行き、陶芸メッセ入口下車徒歩2分。【JR】小山駅から水戸線下館駅下車、下館駅から真岡鐵道益子駅下車徒歩25分。【自動車】常磐自動車道友部JCT経由、北関東自動車道桜川筑西ICから20分。東北自動車道栃木都賀JCT経由、北関東自動車道真岡ICから25分。

益子陶芸美術館 陶芸メッセ・益子
Mashiko Museum of Ceramic Art

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子3021

TEL.0285-72-7555 FAX.0285-72-7600

ホームページ <http://mashiko-museum.jp/>